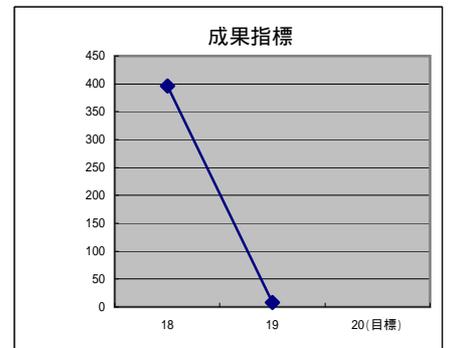
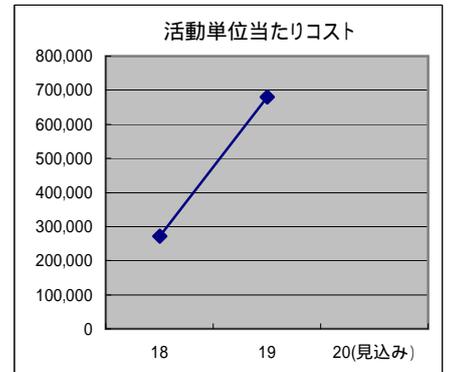


事務事業名		生活援助員派遣事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
	施策(節)	3	高齢者福祉		目	3	老人福祉費
	施策の方向	(2)	高齢者の健康づくりの促進		事業	1	老人福祉援護
関連する計画等	高齢者いきいき計画		作成部署	保健福祉部保険健康室高年介護課			
連絡先	072 958 1111		内線	1380			
対象(誰を・何を)	概ね65歳以上、要介護認定で非該当(自立)と判定された市内在住の高齢者等						
意図(どういう状態にしたいのか)	要介護認定非該当高齢者が生活支援を受け、自立した生活を継続できるよう支援する。						
事業の内容	基本的な生活習慣が欠如していたり、対人関係が成立しないなど、社会適応が困難な高齢者に対して、生活援助員が訪問し、日常生活に対する指導、支援を行い、在宅生活の継続と地域における社会生活の維持を支援することを目的とする。						
根拠法令等	羽曳野市地域支援事業等事業実施規則、羽曳野市生活援助員派遣事業実施要綱						
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月開始		<input checked="" type="checkbox"/> 明確にはわからない		終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化	インフォーマルサービスでのヘルパー派遣が可能となっている。(H19年度末廃止)						
市民や議会の要望							
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称				委託内容	生活援助員派遣事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託						

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	396	8	0
人件費【2】	(千円)	420	672	0
職員数	正規職員	0.05 人	0.08 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	816	680	0
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	816	680
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)
生活支援のプラン件数	件	3	1	0
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		272,000 円	680,000 円	円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		7 円	6 円	0 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
			目標	実績	目標	実績	達成率(%)
生活援助員派遣事業	式)	事業費	1,000	396	381	8	2.1%
			3	0	1	0	0.0%
生活援助の成功例	式)	利用者の自立支援等につながった件数	3	0	1	0	0.0%
			3	0	1	0	0.0%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		無

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自立の高齢者に対してのヘルパー派遣は介護予防特定高齢者施策の訪問型で対応すべき課題と考えられる。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要性を判断する時間を費やしてしまい、非効率である部分が多い。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	要支援者のヘルパー利用の回数が週1回から2回と制限されているなか、自立高齢者のヘルパー利用の回数が上回ることは友好的ではない。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該事業の対象者が市民でも理解しがたい部分が多い。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	インフォーマルサービスが充実しつつある現状で、これから行政が事業を続ける必要性が見当たりにくい。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了					
	評価の理由	自立高齢者(要介護認定非該当の高齢者)に対して支援を行なうことは、介護保険法にてヘルパー等を利用している高齢者との整合性が図れない。					
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)					
		自立高齢者でヘルパーを利用する必要性等の理由が明確でなく、さらに、民間による掃除や宅配等の支援も普及しているため行政が取り組むべき事業ではないと判断し、平成19年度をもって廃止とする。					